



「生活綴り方」から ～自分を見つめる・自分に気づく～

□4月27日におばあちゃんの病院へ行く日に、私は「おばあちゃんの病院に行かなくてもいい」と思っていました。すると、お父さんが私に「いっしょに病院へ行くよ」と言ったので「コロナがこわいから家にいる」と言いました。なのにおばあちゃんの病院について行きました。私は、「こわいから行きたくなかったのに」と思っていました。なんでいっしょに行くのか分からず、お父さんに聞いてみることにしました。

そうすると、お父さんから「おばあちゃんを元気づけるためだよ」と、言われてびっくりしました。わたしは、おばあちゃんを元気づけられるんだと思ってびっくりしました。おばあちゃんの病院行くの、いっしょに行ってあげたいと思いました。

◆「自分の存在が、周りの人を元気づけられる」という気づきはすごいです。

□この前、算数の授業をしていたときのことを書きます。算数の授業で、分数の計算をしていました。そのとき先生が「この答え、何ですか？」と聞いてきたので、ぼくは手を挙げました。でも、隣の席のAさんが、手を挙げず、ノートをずっと見ていました。Aさんのノートを見ると、きれいな字でちゃんと書いてありました。なので、ぼくはAさんに「ノートに書いてあることを言ったらいいだけやに！」と言いました。そしたらAさんが手をそっとあげました。前までは、ぼくは、Aさんと同じような状態だったけど、となりの人や近くにいる人に声をかけることがやっとできたので、うれしかったです。

◆声をかけることが出来るようになった「成長した自分」を実感できました。

□私には、二人の弟がいます。一人は、7歳離れていて、もう一人は10歳離れています。7歳離れた弟とは、よくけんかをします。私は無意識に「キライ」と言っています。弟は、「なら、ぼくも、ねーねキライ！」と返されるのが、ほぼ日課になっています。手を出している私が悪いと分かっているのに「～（弟の名前）が悪い！」と言ってしまいました。お母さんは、「お姉ちゃんやからって、そんなにがんばらんといて、いいよ」と言うけど、私はそういうことを深く考えすぎてしまうみたいで、本当に申し訳ないと思っています。直せるようがんばりたいです。

◆今の自分をしっかりと見つめている「もう一人の自分」がちゃんといえます。

■今年度の修学旅行について

6月24日（水）午前10時から末松鈴鹿市長の定例記者会見が行われ、市内小中学校の修学旅行先に関する発表がありました。全国的な新型コロナウイルス感染症の状況や、今後心配される第2波・第3波の新型コロナウイルス感染症のリスクを最小限にとどめることなどを考えた上で、修学旅行の旅行先を三重県内とする、という内容でした。これにより、鈴鹿市内のすべての小中学校の修学旅行先は、三重県内となりました。

数年前から修学旅行は奈良・京都方面とし、業者と準備を重ねてまいりましたが、早急に新しい旅行内容、日時、見学地、宿泊場所、感染症対策等を決定していくこととなりました。詳細が決まり次第、保護者の皆様にお知らせいたします。

■栄養教諭による食育の授業を進めています

食べることは、毎生活していくエネルギーの素（もと）を作り出し、今の体の素になるものを作り出してくれる、大変重要なはたらきがあります。食事の大切さを義務教育段階でしっかりと教え込みたいと思っています。22日（月）に行われた1年生の食育の授業を紹介します。

今回は、「給食がどのようにつくられるかを知ろう」というテーマで調理員が調理する様子を動画で学習しました。本校の820食分の給食を5人の調理員が、時間内にテキパキと調理している姿に驚いていました。

授業の最後に調理員から1年生の皆さんへの手紙が読み上げられ、1年生からは「残さないようにきれいに食べる」といった感想が出されました。



■保健室からの連絡

発育測定（身長、体重、視力）はすべてのクラスで終了しています。1年と4年の心電図も全校実施の検尿も、ほぼ全員終了しています。

校医さんによる内科検診は7月、8月中に行う予定です。1年、2年、3年、5年が実施する聴力検査は7月下旬に、耳鼻科検診や眼科検診、歯科検診は、2学期に実施する予定です。

今まで使ってきた「わたしのからだ」は、今年度から新しくなります。今までのものは、返却します。学校へもどしていただく必要はありません。